

明石土建の谷さん空撮、全国コンクール入賞

業界団体「日本グラフィックサービス工業会」（東京）が1965年から催すコンクールで、昨年1年間の出版物が対象。今回は同部門102点の中から9点が入賞した。建設会社「明石土建」社長の谷さんは、4年ほど前から空撮を続けている。写真集「万里一空」には、ドローンの低空飛行が生み出す斬新な画角を生かし、明石海峡を照らす日の出や神戸の夜景、但馬の海岸線などを雄大に描写した27点を収録。空に映る微妙な色の変化や、海の青の繊細なニュアンスを表現した。

4色のオフセット印刷機で刷り、紙は光沢がない紙の中から白色度が高いものを採用した。谷さんがあらかじめ8色のインクジェットプリンタ

明石海峡など27点収録

1で刷り出した写真を見ながら、データの色調補正を繰り返した。

谷さんは「可視化することでゴールを共有できた。驚くのは谷さんの写真のレベルが高いこと。社内がざわめき、社員はやる気に燃えた」と振り返る。同社が同作品展で受賞するのは6年ぶり。「これは行けると自信満々だったので、選ばれてほっとしている」と話す。

谷さんは「タイトルや収録順、装丁など一つ一つにこだわった」とし、「次回作に向けてハードルが上がっちゃった。写真をほぼ決めていたのに、選んで直さないといけない」と笑った。

写真集は現在、明石観光協会や明石サービスエリアで販売されている。

ドローン写真集 優れた出版物に

ドローンで県内の風景を空撮した谷吉将さん(61)＝明石市＝の写真集と、制作を担った「交友印刷」（神戸市中央区）が、優れた出版物に贈られる「ジャグラー作品展」の出版印刷物部門で、日本印刷産業連合会会長賞を受賞した。同社社長の杉本浩康さん(47)と喜びをかみしめている。（松本寿美子）



受賞作品の写真集を手にする谷吉将さん(左)と杉本浩康さん＝明石市西新町3、明石土建